



平成29年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社サダマツ 上場取引所 東
 コード番号 2736 URL <http://www.sadamatsu.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 貞松 隆弥
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 磯野 紘一 (TEL) 03-5768-9957
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	4,790	0.2	102	49.3	120	153.5	88	—
28年8月期第2四半期	4,782	5.9	68	—	47	—	2	—

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 141百万円(—%) 28年8月期第2四半期 △22百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	7.87	7.60
28年8月期第2四半期	0.25	0.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	7,860	1,541	19.1
28年8月期	7,070	1,410	19.6

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 1,503百万円 28年8月期 1,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年8月期	—	0.00			
29年8月期(予想)			—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	3.3	250	15.4	190	22.6	40	37.3	3.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期2Q	11,387,000株	28年8月期	11,387,000株
② 期末自己株式数	29年8月期2Q	138,519株	28年8月期	138,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期2Q	11,248,481株	28年8月期2Q	11,249,703株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年9月1日～平成29年2月28日)におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善がみられたものの、米新政権による今後の政策運営や英国のEU離脱問題、アジア新興国や資源国の景気減速等に伴う海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の不安定化による景気の下押しリスクが懸念されるなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

当社が属する宝飾業界におきましては、地域や所得環境を背景とした消費の二極化に加え、節約志向や選別志向の高まりから個人消費が力強さを欠くなか、企業間競争の激化や人材不足の深刻化も相まって厳しい事業環境となりました。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間における当社グループは、中期5ヵ年計画の2年目として「ブランド力の強化」、「本社改革の断行」、「不採算部門の排除」を当事業年度の基本方針として取り組んでまいりました。

既存事業については、主力分野の店舗展開では不採算店舗の退店と併せて、事業の選択と集中による眼鏡事業の譲渡を実行したため、当第2四半期累計期間末における当社グループの店舗数は、前年同期末に比べ5店舗(内、海外1店舗)減少し、87店舗(内、海外6店舗)となりました。ブランド戦略については、引き続き主力商品である“Wish upon a star”を基軸として、精神価値の訴求や認知度の向上を目的としたコラボレーション企画等のプロモーション活動を展開しました。その一環として、平成28年9月にご縁と恋愛成就のパワースポットである東京大神宮の庭園に星の灯りをともし“Wish upon a star”のモニュメントを設置いただいたことに加え、平成29年2月に公開された映画「君と100回目の恋」と“Wish upon a star”とのタイアップコレクションを12月商戦を見据え先行投入するなど、同商品の拡販を通じた商品ブランドの認知促進に努めました。その結果、国内既存店の売上高は前年同期比1.1%増となりました。

新規事業については、成長分野の中核であるEC事業では、主要ECモールへの展開に加え、自社ECサイトを立ち上げ、平成28年12月に本格稼働を開始しました。自社ECサイトの進捗については、映画「君と100回目の恋」と“Wish upon a star”とのタイアップコレクションを投入したことなどにより、滑り出しは順調であったものの、その後はサイト流入数やコンバージョン率(購買率)等の漸減が見られるなど当初計画に対しては下振れで推移しました。

その他、銀座中央通りに平成29年3月14日にオープンした「フェスタリア ビジュソフィア ギンザ」においては、成長軌道の確立に向けた重要な第一歩であることから、グローバル旗艦店としてアジア本格展開への試金石と位置付け、グループを挙げて軌道化に向けた出店準備に注力しました。

これらの活動を進めた結果、店舗数は前年同期末に比べ減少したものの、グループ全体の売上高は前年同期比0.2%増となりました。

利益面に関しては、ベトナム子会社の有効活用により“Wish upon a star”を中心とした同社製品の売上構成比が48.6%と高水準を維持するなど高付加価値商品の売上高が堅調に推移したため、売上総利益は0.1%増となりました。また、費用に関しては、本社人員を含めた人材強化に要する費用に加え、各種インフラ整備に要する設備投資を実施したものの、売上高本社経費率から分析される全体売上高への貢献度は限定的となり、構造改革の進捗には課題が残りました。一方で、3月の銀座路面店出店への対応に注力すべく、前期実施した12月商戦向けのTVCMを大きく縮小するなど、販売費の合理化を含めた配分バランスを計画的に見直したため、販売費及び一般管理費は前年同期比1.0%減となりました。その結果、連結営業利益は前年同期比49.3%増となりました。

営業外損益に関しては、営業外収益として、為替変動に伴う為替差益35百万円を計上したことなどによりプラス幅が拡大しました。

特別損益に関しては、眼鏡事業譲渡に伴う特別利益として、事業譲渡益等26百万円を計上した一方で、退店に係る費用等を特別損失として9百万円計上しました。

海外事業については、小売部門である台湾子会社の台湾貞松股份有限公司(日本名:台湾貞松(株))では、引き続きアジア戦略の重要拠点として、銀座路面店出店を見据え、日本国内店舗との一体感をさらに強めることにより、ジャパンプランドとしての認知度を高めるべく、VMD(ヴィジュアルマーチャンダイジング)の見直しやグループとしての意識統一を進めました。また、生産部門であるベトナム子会社D&Q JEWELLERY Co.,Ltd(日本名:ディーアンドキュー ジュエリー)では、SPA企業として、グループ全体での競争力をさらに向上させるべく、品質の信頼性確保を目的とした高性能測定機器を導入するなど、特に品質管理の強化や工程安定化を柱とした製造機能の向上

に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高4,790百万円（前年同四半期比0.2%増）、営業利益102百万円（前年同四半期比49.3%増）、経常利益120百万円（前年同四半期比153.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益88百万円（前年同四半期純利益2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,860百万円となり、前連結会計年度末に比べ790百万円増加いたしました。その要因は主に、その他の流動資産が332百万円（うち銀座路面店の工事代金及びシステム投資に係る一部支払を前渡金として230百万円）、商品及び製品が266百万円、原材料が77百万円、差入保証金が99百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は6,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ659百万円増加いたしました。その要因は主に、社債が50百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が139百万円、借入金の総額が585百万円増加したものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は1,541百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加いたしました。その要因は主に、為替換算調整勘定が44百万円、利益剰余金が65百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は19.1%となり、前連結会計年度末に比べ0.5ポイント減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月期決算発表時（平成28年10月14日）の予想を変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	824,773	733,195
受取手形及び売掛金	723,681	762,374
商品及び製品	3,329,366	3,595,668
原材料	531,394	609,215
繰延税金資産	46,043	56,421
その他	222,122	554,321
貸倒引当金	△214	△242
流動資産合計	5,677,167	6,310,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	608,412	630,362
減価償却累計額	△332,244	△345,073
減損損失累計額	△12,928	△4,331
建物及び構築物(純額)	263,238	280,957
機械装置及び運搬具	82,084	95,508
減価償却累計額	△54,327	△63,151
機械装置及び運搬具(純額)	27,757	32,357
工具、器具及び備品	292,239	278,596
減価償却累計額	△222,418	△203,120
減損損失累計額	△123	△288
工具、器具及び備品(純額)	69,697	75,187
土地	90,478	90,478
リース資産	309,812	296,471
減価償却累計額	△161,314	△148,694
減損損失累計額	-	△579
リース資産(純額)	148,498	147,198
有形固定資産合計	599,671	626,178
無形固定資産	22,796	56,976
投資その他の資産		
投資有価証券	96,939	97,153
繰延税金資産	69,996	65,609
差入保証金	490,716	590,192
その他	117,975	120,474
貸倒引当金	△6,002	△6,778
投資その他の資産合計	769,625	866,650
固定資産合計	1,392,092	1,549,806
繰延資産	752	-
資産合計	7,070,012	7,860,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	744,824	883,954
短期借入金	2,445,133	2,931,030
1年内償還予定の社債	50,000	-
未払金及び未払費用	492,749	497,909
未払法人税等	110,014	88,435
賞与引当金	74,510	96,456
その他	343,373	329,986
流動負債合計	4,260,605	4,827,773
固定負債		
長期借入金	934,254	1,034,002
退職給付に係る負債	219,532	212,579
リース債務	108,652	105,807
その他	136,642	138,878
固定負債合計	1,399,081	1,491,268
負債合計	5,659,687	6,319,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	743,392	743,392
資本剰余金	550,701	550,701
利益剰余金	163,192	229,181
自己株式	△13,543	△13,543
株主資本合計	1,443,742	1,509,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	220
為替換算調整勘定	△43,622	1,116
退職給付に係る調整累計額	△15,708	△7,854
その他の包括利益累計額合計	△59,258	△6,517
新株予約権	25,842	38,505
純資産合計	1,410,325	1,541,719
負債純資産合計	7,070,012	7,860,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	4,782,669	4,790,605
売上原価	1,695,426	1,700,250
売上総利益	3,087,242	3,090,355
販売費及び一般管理費	3,018,329	2,987,448
営業利益	68,913	102,906
営業外収益		
受取利息	300	196
受取家賃	555	555
為替差益	4,965	35,905
その他	1,928	2,530
営業外収益合計	7,749	39,187
営業外費用		
支払利息	20,983	17,969
社債利息	408	101
社債発行費償却	1,128	752
社債保証料	496	124
支払手数料	2,590	2,603
その他	3,636	357
営業外費用合計	29,244	21,908
経常利益	47,418	120,185
特別利益		
事業譲渡益	-	25,266
固定資産売却益	-	786
特別利益合計	-	26,053
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,044	1,396
固定資産除却損	12,013	2,333
特別退職金	-	3,360
減損損失	8,387	2,007
特別損失合計	26,445	9,098
税金等調整前四半期純利益	20,973	137,140
法人税、住民税及び事業税	30,005	58,188
法人税等調整額	△11,848	△9,535
法人税等合計	18,157	48,653
四半期純利益	2,815	88,486
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,815	88,486

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	2,815	88,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△329	148
為替換算調整勘定	△25,951	44,738
退職給付に係る調整額	610	7,854
その他の包括利益合計	△25,669	52,741
四半期包括利益	△22,854	141,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,854	141,228
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	20,973	137,140
減価償却費	92,679	89,953
減損損失	8,387	2,007
固定資産除却損	12,013	2,333
固定資産売却損益(△は益)	-	△786
事業譲渡損益(△は益)	-	△25,266
店舗閉鎖損失	6,044	1,396
株式報酬費用	4,745	5,369
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,498	21,555
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,134	△6,952
為替差損益(△は益)	9,312	△27,960
受取利息及び受取配当金	△393	△196
支払利息	21,888	18,194
社債発行費償却	1,128	752
支払手数料	2,590	2,603
売上債権の増減額(△は増加)	△7,961	△36,019
たな卸資産の増減額(△は増加)	△216,369	△377,277
前渡金の増減額(△は増加)	855	△230,336
仕入債務の増減額(△は減少)	44,578	138,410
その他の資産の増減額(△は増加)	87,424	△98,804
その他の負債の増減額(△は減少)	△22,240	△1,042
小計	88,290	△384,924
利息及び配当金の受取額	393	196
利息の支払額	△21,478	△18,565
支払手数料の支払額	△3,208	△3,203
法人税等の支払額	△4,288	△88,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,709	△495,356
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△85,129	△81,198
有形固定資産の売却による収入	-	7,969
無形固定資産の取得による支出	△11,203	△39,401
差入保証金の差入による支出	△24,599	△126,533
差入保証金の回収による収入	8,814	26,332
事業譲渡による収入	-	108,207
その他の収入	912	-
その他の支出	△5,351	△6,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	△116,557	△111,093
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	400,000
長期借入れによる収入	500,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△377,891	△414,355
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
リース債務の返済による支出	△22,156	△27,809
新株予約権の発行による収入	-	7,293
自己株式の取得による支出	△161	-
配当金の支払額	△22,350	△22,405
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,559	492,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,408	22,148
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△138,816	△91,577
現金及び現金同等物の期首残高	625,607	824,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	486,791	733,195

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。